

# 桜が丘特別支援学校ってどんな学校？

川棚駅から徒歩15分、川棚町役場からは徒歩5分、

長崎川棚医療センターの隣に建つ本校ですが、

国道からは見えず、本校の近くまで来ても見つけにくいたたずまいで、

川棚町在住の方でも本校のことをご存じない方が多いようです。

そこで！

川棚町が発行する「広報 かわたな 8月号」に  
学校紹介を掲載していただきました。

**桜が丘特別支援学校だより**  
**桜が丘特別支援学校の児童生徒たち**


本校には、心身に病気のある小学部五名、中学部十三名、高等部三十三名の児童生徒が、川棚町内をはじめ、近隣の市町からJRや路線バス、自家用車で通学しています。また、病気の状態が重いなどの理由で学校に通学できない二名の生徒が家庭や病院、施設内で学ぶ訪問教育を受けています。遠足や運動会、集会などでは縦割り活動が盛んで、小学生から高校生まで児童生徒の仲がよいのが本校の特長です。

**ヒーローがいる学校**

本校の公式キャラクター「さくらんダー」を知っていますか？本校の卒業生が、二十年前に重度の障害のある友達を喜ばせようとパソコンを駆使して作り上げたキャラクターで、昨年満二十歳を迎え、川棚町の成人式にも参加させていただきました。彼は武器や必殺技を持たず、笑いで人を楽しませるとともに、差別のない世界、心のバリアを取り除くために活躍するバリアフリーヒーローに成長しています。本校の子供たちは、さくらんダーに元氣と勇氣をもらいながら、日々の学習に励んでいます。

**強くて優しい  
しなやかな心を持つ人を育てる学校**

本校の校訓は「自律 協力 感謝」で、これらは人として生きていく上でとても大切な内容だと考えています。この校訓を基盤に、「社会と関わりながら自分らしく生きる」児童生徒の育成に力を入れています。ちよっぴり恥ずかしがり屋で無愛想な子供が多いのですが、病氣と闘いながら、ゆっくりと地道に努力を重ねる本校を温かく見守ってください。



※「広報 かわたな」は、川棚町ホームページで見ることができます。



特別支援教育のセンター的役割として  
地域に貢献できるように頑張ります！